



### 透過性と安定性に優れた記録膜の開発と精密な層形成技術により、長時間記録と高速データ転送を実現

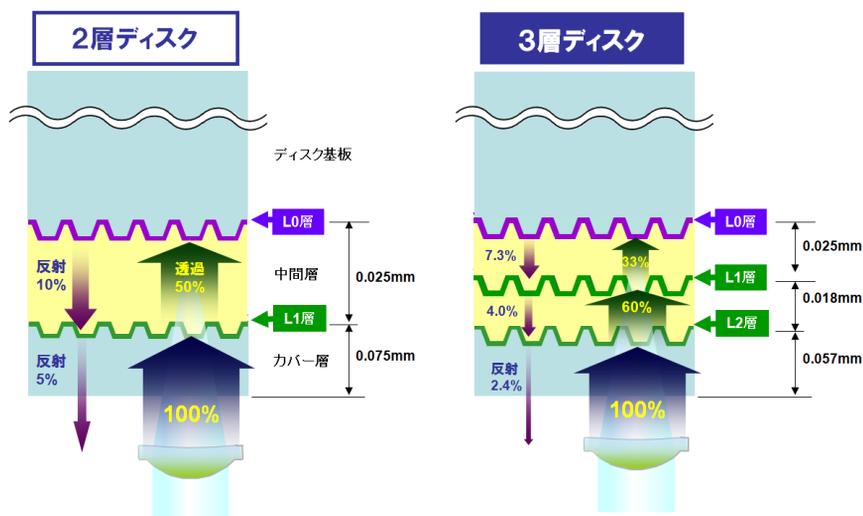
#### 主な特長

#### ■ 3層化に最適な記録膜を新開発

3層ディスクでは、レーザー光が当たるディスク表面から0.1mmの深さのところに1つ目の記録層（以下L0層）、表面から0.075mmのところに2つ目の記録層（以下L1層）、0.057mmのところに3つ目の記録層（以下L2層）があり、その間には中間層で構成されています。各層で記録・再生する場合は、その部分にレーザー光が焦点を結ぶよう、ピックアップがコントロールされます。

L0層を記録・再生するときはレーザー光がL2層やL1層を透過する必要がありますが、L2層およびL1層を記録・再生するときはそれぞれの層で反射させなければなりません。

このため、L2層、L1層には新しい材料・製法による「半透過性」記録膜を開発し、採用しています。L2層、L1層では「透過特性（L0層の記録・再生）」、「反射特性（各層の再生）」、「光吸収特性（各層の記録）」をバランスさせる必要があります。高精度な製造技術が必要とされます。

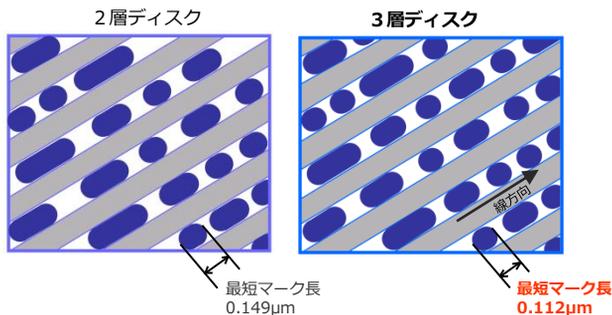


# ■ 高密度化により長時間記録に対応

短波長の青紫色レーザーでディスク上に信号を記録するときには、高出力のレーザー光を照射して急速に温度を下げることで、記録膜の状態を変化させています。その部分を「マーク」と呼びますが、最も短いマークの長さ（最短マーク長）は、2層ディスクでは0.149μmであるのに比べ、3層ディスクではさらに短い0.112μmとなっています。最短マーク長を短くして、線方向の記録密度を高めることで、2層ディスク50GBの2倍の100GBを実現しています。

これにより、MPEG HD422記録モードでも約190分の記録が可能となり、スタジオ収録やスポーツ収録など、長時間記録が必要なコンテンツも1枚のディスクに記録することができます。

<記録パターンイメージ>



<記録時間>

コーデック	ビットレート	記録時間
MPEG HD 422	50Mbps	約 190 分
MPEG HD	35Mbps	約 290 分
	25Mbps	約 380 分
	18Mbps	約 496 分
MPEG IMX	50Mbps	約 200 分
	40Mbps	約 240 分
	30Mbps	約 300 分
DVCAM	25Mbps	約 370 分

※撮影条件により、上記に記載した時間と異なる場合があります。  
 ※記録フォーマット、対応ディスクは機器により異なります。

# ■ アーカイブケースモデルをラインアップ

通常ケースモデル『PFD100TLA』と併せて、アーカイブケースモデル『PFD100TLAG』をラインアップ。アーカイブケースは、ライブラリー運用に欠かせないキューシートをケースの内側に収納できます。また、タイトルラベルや管理用バーコードラベルなどが貼りやすいよう、十分な背ラベルエリアを確保しています。

## 主な仕様

		PFD100TLA
カートリッジ寸法		129×131×9mm (W×H×D)
ディスク直径		12cm
記録容量		100GB
記録波長		405nm (青紫色レーザー)
記録方式		相変化記録
トラックピッチ		0.32μm
データ転送レート※	読み出し	最大312Mbps
	書込み	最大130Mbps
書換え回数		1,000回以上
読み出し回数		1,000,000回以上
データ保存寿命 (平均)		50年以上 (弊社加速試験による推定値)

※PDW-U2でを使用した場合。データ転送レートは、使用する機器および機能により異なります。

お問い合わせは

ソニービジネスソリューション株式会社 プロメディア営業部

東日本営業所：東京都港区港南1-7-1

TEL. 03 (6748) 3033

西日本営業所：大阪府大阪市北区堂島2-4-27

TEL. 06 (4796) 9603

sony.jp/pro-media/